

5 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、第15表のとおり、病院、水道、工業用水道及び流域下水道の4事業の経営を行っています。

企業会計予算の総額は、696億1,767万2千円となり、前年度の636億3,084万5千円に比べ、59億8,682万7千円、9.4%増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	令和7年度 当初予算額 (A)	令和6年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
病 院 事 業	7,521,390	7,209,670	311,720	4.3
水 道 事 業	20,682,385	19,076,902	1,605,483	8.4
工 業 用 水 道 事 業	14,468,686	12,614,663	1,854,023	14.7
流 域 下 水 道 事 業	26,945,211	24,729,610	2,215,601	9.0
合 計	69,617,672	63,630,845	5,986,827	9.4

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入している県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 700床

(イ) 患者数

	年 間	1 日 平 均
入院患者数	175,930 人	482 人
外来患者数	139,150 人	575 人

イ. 収益的収支 収入 5,639,357千円 資本的収支 収入 1,247,558千円

支出 5,827,076千円 支出 1,694,314千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が28億6,097万6千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が27億7,838万1千円で、合わせて56億3,935万7千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が56億9,909万5千円、支払利息等の医業外費用が1億2,798万1千円で、合わせて58億2,707万6千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、1億8,771万9千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債4億840万円や県費負担金4億3,915万8千円など、合わせて12億4,755万8千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費4億6,422万円や企業債償還金7億3,709万4千円など、合わせて16億9,431万4千円を計上しています。

ウ. 令和7年度の事業運営

令和7年度は、それぞれの県立病院が引き続きその役割・機能を果たしていくため、経営方針や取組をまとめた「三重県病院事業 中期経営計画」に基づき、県民の皆さんの求める医療の着実な推進や健全な病院経営に取り組んでいきます。

- ・県立こころの医療センターにおいては、政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療等の専門的医療の提供、訪問看護やデイケア等の地域生活支援、精神分野における災害医療
- ・県立一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケア人材の育成のほか、予防医療の提供や地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携
- ・県立志摩病院においては、指定管理者と密接に連携しながら、地域の医療ニーズをふまえた診療機能の維持・充実

などに取り組み、県立病院として役割を果たしていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）により、水道用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 75,487,001m³

1日平均給水量 205,687m³

イ. 収益的収支	収入	9,821,381千円	資本的収支	収入	3,265,020千円
	支出	10,316,319千円		支出	10,366,066千円

収益的収入は、給水収益8億9,763万1千円及びその他営業収益を合わせた営業収益89億205万8千円と長期前受金戻入8億5,495万2千円等の営業外収益9億1,932万3千円です。

収益的支出は、人件費、動力費、減価償却費等の営業費用101億310万6千円と支払利息等の営業外費用2億1,121万3千円が主なものです。

以上の結果、8億1,573万3千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、国庫補助金11億6,209万1千円と他会計出資金11億8,340万2千円が主なものです。

資本的支出は、中勢水道改良費等の建設改良費92億3,509万3千円、企業債償還金等の償還金11億3,097万3千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、中勢水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R7	263,888	263,888	既設設備の改良
北勢水道改良事業	R7	2,961,543	2,961,543	既設施設の改良
中勢水道改良事業	R7	3,938,207	3,938,207	既設施設の改良
南勢水道改良事業	R7	2,010,850	2,010,850	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数 94社

(イ) 年間総給水量 208,588,620m³

1日平均給水量 571,476m³

イ. 収益的収支 収入 6,139,955千円 資本的収支 収入 2,770,476千円
支出 6,652,494千円 支出 7,816,192千円

収益的収入は、給水収益55億1,699万9千円及びその他営業収益を合わせた営業収益57億7,646万5千円と長期前受金戻入3億3,901万2千円等の営業外収益3億6,349万円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用64億1,310万3千円と支払利息等の営業外費用2億3,739万1千円が主なものです。

以上の結果、7億86万8千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債23億4千万円と他会計出資金3億2,625万3千円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良費等の建設改良費65億1,918万7千円と企業債償還金等の償還金11億9,700万5千円が主なものです。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北伊勢工業用水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R7	272,451	272,451	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	R7	4,735,825	4,735,825	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	R7	334,307	334,307	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	R7	970,350	970,350	既設施設の改良

(4) 流域下水道事業会計

流域下水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町及び川越町を対象とした北勢沿岸流域下水道（北部処理区、南部処理区）、津市、松阪市及び多気町を対象とした中勢沿岸流域下水道（志登茂川処理区、雲出川左岸処理区、松阪処理区）、伊勢市、明和町及び玉城町を対象とした宮川流域下水道（宮川処理区）により、公共用水域の水質汚濁防止や生活環境の改善等を目的に、汚水処理を行っています。

ア. 業務の予定量

年間総処理水量 91,159,000m³

1日平均処理水量 249,751m³

イ. 収益的収支 収入 15,432,606千円 資本的収支 収入 11,309,390千円
支出 15,052,101千円 支出 11,893,110千円

収益的収入は、維持管理負担金収益76億496万円の営業収益と、長期前受金戻入72億5,971万5千円等の営業外収益78億2,764万6千円です。

収益的支出は、処理場費、減価償却費等の営業費用143億7,310万4千円と、支払利息等の営業外費用6億7,849万7千円が主なものです。

以上の結果、4億2,377万1千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債24億2,160万円、補助金68億1,500万6千円、負担金20億7,278万4千円です。

資本的支出は、宮川流域下水道（宮川）建設事業等の建設改良費88億9,824万4千円、企業債償還金29億9,486万6千円です。

ウ. 主な建設改良計画

宮川処理区では、関連市町による公共下水道の整備の進捗に合わせ、国補宮川流域下水道（宮川）建設事業において、幹線管渠の延伸工事を実施しています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
国補北勢沿岸流域下水道（北部）建設事業	R7	1,080,324	1,080,324	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業	R7	2,794,050	2,794,050	処理施設の増設、更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（志登茂川）建設事業	R7	292,740	292,740	処理施設の増設、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（雲出川左岸）建設事業	R7	1,256,577	1,256,577	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（松阪）建設事業	R7	267,036	267,036	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補宮川流域下水道（宮川）建設事業	R7	2,886,870	2,886,870	幹線管渠の延伸、更新・長寿命化対策、地震対策等

一口メモ

- 収益的収支… 当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支… 住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。